

(様式第 1 号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2022 年 9 月 2 日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 4 条第 1 項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	株式会社小島組
所 在 地	名古屋市港区木場町 1 番の 6
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 小島 智徳
担 当 者 連 絡 先	電 話： 052-691-7070
	メール：
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	http://www.kk-kojimagumi.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

大正 8 年創業以来、浚渫をはじめとする港湾土木事業を広く行っています。世界最大級のグラブ浚渫船「五祥」をはじめとする多くの浚渫船を保有し、国内外での工事に参画しています。浚渫した土砂を活用し、新たな土地をつくる揚土船も多数保有し稼働させています。環境にやさしい Hybrid 船第 381 良成丸においては、自動運転化への取り組みも行っています。
--

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	CO2 排出量が大幅削減される、環境負荷の削減	社有車をハイブリットカーを始め、EV カーへ 【現状】 34.3% 【目標】 90%
□環境 ✓社会 ✓経済	ワークライフバランス、働きがい、生産性の向上のため時間外労働時間を短縮する	月時間外労働時間 最長時間 【現状】 100 時間 【目標】 45 時間
□環境 ✓社会 ✓経済	心身とも健康で、大切な人材を護るため働きやすい職場環境を整える	ストレスチェックの結果 ストレス評価 【現状】 健康リスク 84 点 【目標】 健康リスク 75 点

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・雇用、教育、昇進、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を整えています					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメントに関する就業規則を整え、総務部長を相談窓口としている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	長時間労働是正のため時間外集計の開示、安全衛生委員会でも、現状の把握、検討。また、ローテーション勤務、有休促進もしている。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	ダイバーシティ推進室を立ち上げ取り組んでいる				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	安全衛生委員会を通じて、啓蒙活動、安全パトロールの実施、安全教育に取り組んでいる			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	管理者向の研修を行っている			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	ダイバーシティ推進室で取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	社内教育制度の取り組み、年間計画の作成、個々のスキルマップ計画を作成し、進捗管理する。資格取得費用の補助、給与への手当支給。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	健康優良法人認定基準を遵守した取り組みを行っている			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる												11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					

[illegible]

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
30 																			

上記以外で設定した取組項目

[illegible]

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	名古屋市港区木場町 1 番の 6
名称：	株式会社 小島組
代表者：	代表取締役社長 小島 智徳
登録年月日：	令和 4 年 9 月 2 1 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	C02 排出量が大幅削減される、環境負荷の削減	社有車をハイブリットカーを始め、EV カーへ 【現状】 34.3% 【目標】 90%	8/末 現在 【現状】 59.7%
□環境 ✓社会 ✓経済	ワークライフバランス、働きがい、生産性の向上のため時間外労働時間を短縮する	月時間外労働時間 最長時間 【現状】 100 時間 【目標】 45 時間	8/末 現在 【現状】 100 時間 (改善に向け全社員に指導中)
□環境 ✓社会 ✓経済	心身とも健康で、大切な人材を護るため働きやすい職場環境を整える	ストレスチェックの結果 ストレス評価 【現状】 健康リスク 84 点 【目標】 健康リスク 75 点	8/末 現在 【現状】 85 点 (現在チェック結果が出ている人のみの集計による)

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	名古屋市港区木場町 1 番の 6
名称：	株式会社 小島組
代表者：	代表取締役社長 小島 徳明
登録年月日：	令和 4 年 9 月 2 1 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	CO2 排出量が大幅削減される、環境負荷の削減	社有車をハイブリットカーを始め、EV カーへ 【現状】 34.3% 【目標】 90%	8/末 現在 【現状】 73.3%
□環境 ✓社会 ✓経済	ワークライフバランス、働きがい、生産性の向上のため時間外労働時間を短縮する	月時間外労働時間 最長時間 【現状】 100 時間 【目標】 45 時間	8/末 現在 【現状】 90 時間 (改善に向け全社員に指導中)
□環境 ✓社会 ✓経済	心身とも健康で、大切な人材を護るため働きやすい職場環境を整える	ストレスチェックの結果 ストレス評価 【現状】 健康リスク 84 点 【目標】 健康リスク 75 点	8/末 現在 【現状】 80 点 (現在チェック結果が出ている人のみの集計による)

令和 7 年 1 0 月 3 1 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地：	名古屋市港区木場町 1 番の 6
名 称：	株式会社 小島組
代 表 者：	代表取締役社長 小島 徳明
登録年月日：	令和 4 年 9 月 2 1 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	C02 排出量が大幅削減される、環境負荷の削減	社有車をハイブリットカーを始め、EV カーへ 【現状】 34.3% 【目標】 90%	10/末 現在 【現状】 79.7%
□環境 ✓社会 ✓経済	ワークライフバランス、働きがい、生産性の向上のため時間外労働時間を短縮する	月時間外労働時間 最長時間 【現状】 100 時間 【目標】 45 時間	10/末 現在 【現状】 90 時間 (改善に向け全社員に指導中)
□環境 ✓社会 ✓経済	心身とも健康で、大切な人材を護るため働きやすい職場環境を整える	ストレスチェックの結果 ストレス評価 【現状】 健康リスク 84 点 【目標】 健康リスク 75 点	10/末 現在 【現状】 77 点 (現在チェック結果が出ている人のみの集計による)